

「命を共に支える」
「切れ目のない医療と介護の連携」



福島区医師会 検索

E-mail: fukushimakuishikai.zaitaku@gmail.com

◆発行者

福島区医師会 在宅医療・
介護連携相談支援室

080-8337-3960 (月～水)

080-8535-5344 (木)

080-8337-3959 (金)

FAX 06-6461-1515

★在宅医療・介護連携相談支援室では、令和4年度は「顔の見える関係づくり」をコンセプトとし、関係医療機関・各介護福祉事業所の皆様に安心してご相談いただけるよう体制を整え、「在宅医療を考える会」の活動を基盤に活動を進めています。



PICK UP

人生会議(ACP)



「人生会議」ってご存じですか？

2018年、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)がより馴染みやすい言葉となるように「人生会議」という愛称が決定しました。同年、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」も発表され普及・啓発が進められています。

今年11月24日に開催しました第2回福島区の在宅医療を考える会「アレンジ×コミュニケーション×ACP」に参加されてアンケートに回答いただいた39名の約54%が人生会議について「よく知らない」「聞いたことはあるがよく知らない」と回答しており、福島区でも更なる啓発・普及が求められています。福島区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室では、人生会議普及活動として、【体験】【学ぶ】【実践】の3つの視点で今後研修や啓発資料作成等行っていく予定です。

あなたらしく、
わたしらしく生きていくために
看取りを疑似体験しACPについて考えませんか。

VR看取り体験研修会

ACP
希望する医療やケアについて、前もって話し合い、家族や医師などと共有しておくこと

2023.1.31 (火)
14時～16時(開場:13時半)
福島区役所 6階 大会議室

定員 50名

【対象】医療・介護関係者(看取りの理解を深めたい専門職)
【内容】看取りをVRで疑似体験して頂きACPについて考えます。

【お問合せ】
080-8535-5344(村尾)
080-8337-3959(中村)

【主催】福島区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室

体験

新型コロナウイルス感染症拡大状況により、集合研修からオンライン研修(Zoom)に変更させて頂く場合がございます。

“そのとき”が来たら考えられない
だから今、人生会議

11月30日は人生会議の日

人生会議とは
希望する医療やケアについて、前もって話し合い、家族や医師などと共有しておくことです。
・命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、誰かを人に任せたりすることができなくなると言われています。
・“そのとき”に備えて、前もって望む医療・ケアに対する希望を家族や医師に伝えておくことが重要です。

どんなことを考えたいの？

もし病気になるたら…

- ◆どんな治療・ケアを受けたいか
例えば、・痛みと闘って一日も長く生きたい、・最後まで意識を醒めたい、
・自分が亡くなるまでできるだけ意識を醒めたい、など
- ◆どんな所で療養したいか
例えば、・家族やヘルパーなどの手を借りながら、できるだけ住み慣れた自宅で生活したい、
・病院や施設で暮らしたい、など

どうやって話し合い、共有したいの？

Step 1 治療する際に、大切にしたいことを話し合ってみよう
家族や友人のサポートをいかに必要とするのか、
・好きなことを話し合いたい
・希望・思いをしっかりと話し合いたい

Step 2 もしものとき、あなたの思いを伝えておきましょう
・希望や思いは、医師の経験や臨床知識によって変化していくものです。
・何度も、繰り返し考えていきましょう。

Step 3 かかりつけに話し合ってみよう
・誰がやらなければならないのかを話し合ってみよう
・一人だけでは難しい
・人際関係のほかに、

Step 4 希望する医療やケアについて話し合ってみよう
・自分がやらなければならないのかを話し合ってみよう
・一人だけでは難しい
・人際関係のほかに、

Step 5 おきましょ
話し合った内容の記録として書き起こし、家族や医師と共有しましょう。

学ぶ

あなたも「人生会議」をはじめませんか？
詳しくはホームページをご覧ください。大阪府 人生会議 啓発

大阪府 人生会議 啓発

お問い合わせ先: 大阪府医師会 在宅医療・介護連携相談支援室 06(6941)0025

2

福島区「在宅医療を考える会」参加レポート

●第1回「福島区の在宅医療を考える会」 「福島区医師会救急医療講演会」 共催:福島消防署

日時:9月7日(水)14時~15時
 場所:福島区民センター1階ホール
 参加者:医療・介護関係者約70名
 内容:高齢者救急について、予防救急について
 <感想>
 大阪市消防局発行の“予防救急:ボジョレーと学ぼう”が紹介されました。救急車を必要とすることがないように日頃から注意するポイントがわかりやすく紹介されています。ぜひホームページもご覧ください。
<https://www.119aed.jp/yobo.html>

9月は救急月間



突然の病氣やケガ!! 緊急時は迷わず119番へ!
 病院に行ったほうがいい?
 救急車を呼んだほうがいい?
 「救急安心センターおおさか」
 #7119 (24時間365日対応)
 または
 06-6582-7119 まで電話してください
 相談員・看護師が医師の支援体制のもと24時間365日対応
 *健康相談、育児相談、医薬品などのご相談には対応できません。

●第2回「福島区の在宅医療を考える会」 「アレンジ×コミュニケーション×ACP」 共催:東大阪プロジェクト

日時:11月24日(木)14時~16時
 場所:福島区民センター1階ホール
 参加者:医療・介護関係者約61名
 講師:在宅療養支援診療所 かわバクリニック 医師 川邊正和先生
 看護師 川邊綾香さん
 内容:①基調講演:患者さん・利用者さんの希望をキャッチするために実践していること
 ②グループワーク:死を前にした人にあなたは何かができますか?



<感想>
 東大阪プロジェクトは医師・看護師・社会福祉士・司法書士等多数の職種が集まり真の地域包括ケアシステムを目指して研修会等行っている団体です。
 「お互いの強みを活かしていこう」と何度も発言されていました。できていないことを指摘しあうのではなくお互いの強みを活かそうと努めることが連携の第一歩だと学びました。

3

ご相談について <迷ったらすぐお電話を>

ご相談内容は多種多様です。その方の状況に沿った自宅や施設、病院での生活を支え、医療と介護の連携が円滑に進むように、よりよい方法をご相談者と一緒に検討させていただきます。
 お電話やメール、状況により対面をご利用下さい。迷われたらまずご連絡して下さい。

●年度初めに大阪府訪問看護ステーション協会のご協力により介護事業所へPPE資材が配付されました。
 まだ在庫がございますので必要な事業所は相談支援室までご連絡ください。



《相談支援室へのご相談方法》 電話(曜日により異なります)・メールのいずれかの方法をご利用ください。

- 電話:(月~水)080-8337-3960 ・ (木)080-8535-5344 ・ (金)080-8337-3959
- メールアドレス:fukushimakuishikai.zaitaku@gmail.com